

Viola



百武由紀

やみつき

BLEND

大田智美

Accordion



©Jumpei Iainaka

Program

久遠の響きより

《TOBIAS HUME》

What greater grief どれほど大きな悲しみであろう

Touch me sweetly 優しく触れて

《ORLAND GIBBONS》

Galliard a 3 3声の為のガリヤルド

《JOHN DOWLAND》

Flow, my tears, fall from your springs 流れよ 我が涙

Can she excuse my wrongs 彼女は僕を許してくれるだろうか

11/2²⁰²³ THU

18:30 開場 19:00 開演

代官山教会

全席自由

一般 3,000 円

学生 1,500 円

新たなる挑戦

村松崇継 彼方の光 (リベラ)

J.S.Bach カンタータ第5番 アリア 豊かに溢れ出よ、神の泉

Rimsky-Korsakov アラビアの歌 (シェーラザードより)

Azarashvili ノクターン

Faure 夢の後に

シェイクスピアと同時代の作曲家、ダラントを代表に ヒューム、ギボンズの作品達が
ヴィオラとアコーディオンの響きで新しい世界へと羽ばたきます。
心震える後半の曲たちも 皆様がこのブレンドに「やみつき」になって頂くお手伝いを。

百武由紀

百武 由紀 Yuki Hyakutake — ヴィオラ viola —

東京藝術大学卒業。同大学院修了。浅妻文樹、W・プリムローズ、S・コロロ各氏に師事。1999年まで東京都交響楽団に在籍し首席奏者を務める。ニューヨーク・カーネギーホールにて邦人作品演奏。シノポリ・ワールドフィル日本代表。パリ日本文化館オープニング、ゲストアーティスト。カール・ライスター、ウルリッヒ・コッホ氏等、外来演奏家と多数共演。国内外の音楽祭多数出演。ソリストとして東京都交響楽団、広島交響楽団、セントラル愛知、アカデミカ・アンサンブル、東京ゾリステン、ビルトーズ横浜等と協演。現代曲の初演も多数手掛ける。1999年、日本音楽コンクール作曲部門の演奏に対して、審査員特別賞受賞。2002年芸術祭参加リサイタル「20世紀フランス・ヴィオラ作品の音脈をたどって」を開催し、高評を博す。弦楽四重奏団「クアトロ・ピアチェーレ」において、2010年第65回文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。「東京シンフォニエッタ」メンバー。2010年第10回佐治敏三賞受賞。室内楽、ソロ、オーケストラと幅広く活躍。『どのようなアンサンブルにあっても、常に音楽を活性化出来る類い稀なヴィオラ奏者』との評価を得る。現在、愛知県立芸術大学名誉教授、東京音楽大学特任教授、名古屋音楽大学客員教授。



大田智美

大田 智美 Tomomi Ota — アコーディオン accordion —

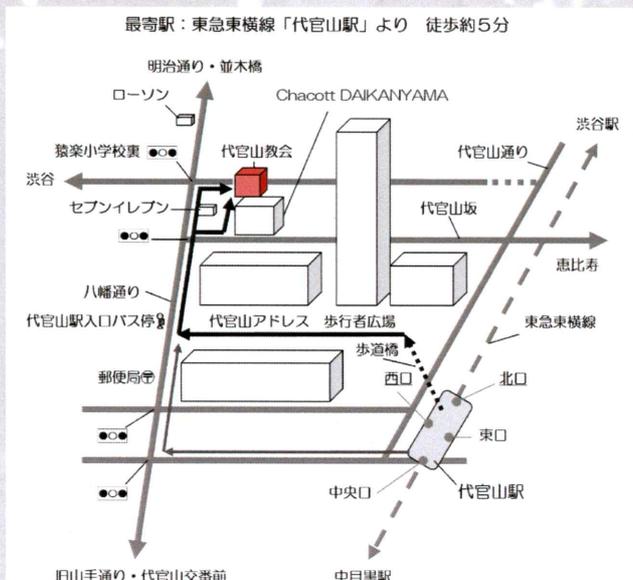
幼少期からアコーディオンを始め、国立音楽大学附属音楽高等学校ピアノ科卒業後、渡独。2009年folkヴァンク音楽大学ソリストコース・アコーディオン科を満場一致の首席で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。御喜美江に師事。

また特待生としてウィーン私立音楽大学でも研鑽を積む。

帰国後は、ソロや室内楽、新曲初演、オーケストラとの共演等、国内外での演奏活動と共に、楽器についてのワークショップを日本各地の音楽大学で行うなど、特にクラシックや現代音楽の分野でのアコーディオンの普及にも尽力し、この楽器の魅力と可能性を発信している。

近年では、NHK交響楽団定期公演、東京・春・音楽祭、サントリーホールサマーフェスティバル、NHKFMベストオブクラシック等に出演。また国内の現代音楽アンサンブル公演にも多く客演しており、その確かな技術と音楽性を高く評価されている気鋭のアコーディオン奏者である。

<http://www.tomomiota.net/>



代官山教会

東京都渋谷区代官山町 14-3

東急東横線 利用：
代官山駅 下車 徒歩約 5分

東急バス 渋71 利用：
代官山駅入口 下車 徒歩約 3分

お問合せ先：yukigule0321@gmail.com